

2007年8月2日

**プレスリリース**

 本資料は8月2日にチュー  
 リッヒで発表されたプレス  
 リリースの翻訳版です

**クレディ・スイス・グループ  
 2007年第2四半期業績および上半期業績を発表  
 2007年第2四半期純利益 32億スイス・フラン (CHF)**

現行の80億CHF相当自社株買戻しプログラム、計画前倒しで2008年末までに完了見通し

 2007年第2四半期、1株当たり希釈化純利益は前年同期1.86CHFから2.82CHF、自己資本収益率は  
 同21.6%から29.7%

 2007年上半期、純利益は59億CHF、1株当たり希釈化純利益は前年同期比4.07CHFから5.24CHF、  
 自己資本収益率は23.1%から27.4%

 2007年第2四半期の新規純資産は、ウェルス・マネジメントは133億CHF、アセット・マネジ  
 メントは204億CHF

**決算ハイライト**

単位：百万CHF	2007年 第2四半期	2007年第1 四半期	2006年 第2四半期	2007年第1 四半期からの 増減率 (%)	2006年第2 四半期からの 増減率 (%)
継続事業からの利益	3,189	2,729	1,872	17	70
当期純利益	3,189	2,729	2,158	17	48
継続事業からの1株当たり希釈化純利益 (CHF)	2.82	2.42	1.61	17	75
1株当たり希釈化純利益 (CHF)	2.82	2.42	1.86	17	52
自己資本収益率	29.7%	25.2%	21.6%	-	-
BIS第1分類資本比率 (当期末)	13.0%	13.2%	10.6%	-	-
<b>中核事業<sup>1</sup></b>	<b>11,703</b>	<b>10,669</b>	<b>8,047</b>	<b>10</b>	<b>45</b>
営業収益					
貸倒引当金繰入額	(20)	53	10	-	-
総営業費用	7,637	7,040	5,587	8	37
継続事業からの利益 (税引前)	4,086	3,576	2,450	14	67

<sup>1</sup> 中核事業は3事業部門とコーポレート・センターの業務を含む。ただし大きな経済的利益を有しない少数株主持分に関する利益と費用を除く。

クレディ・スイス・グループは、本日、2007年第2四半期および上半期の業績を発表しました。それによると、2007年第2四半期純利益は31億8,900万CHFで、継続事業からの利益は前年同期の実績を70%上回りました。1株当たり希釈化利益は2.82CHFで、前年同期実績の1.86CHFを上回りました。

クレディ・スイス・グループ最高経営責任者（CEO）のブレイディー・ドゥーガンは次のように述べています。「当四半期の記録的な業績は、これまでに築いた収益モメンタムに基づいています。当四半期の営業収益は、当社の掲げる顧客第一主義の効果もあり、前四半期、前年同期の実績をともに上回りました。また、事業の成長に向けた投資を継続しながらも、効率向上を重視したため、業務改善を達成しました」。

「当四半期は一部市場における状況が厳しく、その傾向が今後も継続する見込みであることを鑑みると、この業績は特に喜ばしいものです。しかし、私はクレディ・スイスの長期的な成長見通しについては大変楽観的です。顧客第一主義の、統合されたビジネスモデルおよび適切なりリスク負担によって、クレディ・スイスは今後も市場サイクルを問わず優れた価値を株主の皆様にご提供できると確信しています」（ドゥーガン）。

#### クレディ・スイス・グループ：部門別業績

単位：百万 CHF		2007年 第2四半期	2007年第1 四半期	2006年 第2四半期	2007年第1 四半期から の 増減率 (%)	2006年第2 四半期から の 増減率 (%)
インベストメント・ バンキング	純営業収益	7,538	6,582	4,436	15	70
	貸倒引当金繰入額	9	61	16	(85)	(44)
	総営業費用	5,027	4,531	3,133	11	60
	継続事業からの税 引前利益	2,502	1,990	1,287	26	94
	プライベート・ バンキング	純営業収益	3,353	3,366	2,913	0
	貸倒引当金繰入額	(29)	(7)	(5)	-	-
	総営業費用	2,001	1,934	1,795	3	11
	継続事業からの税 引前利益	1,381	1,439	1,123	(4)	23
アセット・ マネジメント	純営業収益	853	776	675	10	26
	貸倒引当金繰入額	0	0	(1)	-	100
	総営業費用	554	519	649	7	(15)
	継続事業からの税 引前利益	299	257	27	16	-

#### インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門の2007年第2四半期の継続事業の税引前利益は25億200万CHFで、2006年第2四半期の実績を94%上回りました。これは四半期ベースでは過去最高でした。純営業収益も前年同期比70%増の過去最高を記録し、すべての主要事業分野で大幅な業績の改善が見られました。貸倒引当金繰入額は前年同期を下回りました。総営業費用は前年同期比60%増となりました。2006年第2四半期に計上した保険適用による訴訟和解金の控除と関連費用の影響を除くと、総営業費用は前年同期比39%増となりますが、これは主に増収による従業員報酬費用の増加およびその他営業費用の増加によるものです。同部門は引き続き従業員報酬以外の費用の削減を進めています。例えば、当四半期の一般管理費は、保険適用による訴訟和解金の控除の影響を除くと、前年同期を14%下回りました。これは、事業活動の活発化にもかかわらず、固定費用の継続発生金額を削減できたことによります。当四半期の営業収益に占める従業員報酬の割合は前年同期の53.5%を下回る51.5%で、税引前利益マージンは前年同期の29.0%を上回る33.2%でした。

### プライベート・バンキング部門

ウェルス・マネジメントとコーポレート&リテール・バンキングからなるプライベート・バンキング部門の2007年第2四半期の継続事業の税引前利益は13億8,100万CHFで、前年同期の実績を23%上回りました。

ウェルス・マネジメントの2007年第2四半期の継続事業の税引前利益は10億100万CHFで、前年同期を28%上回りました。純営業利益は前年同期比17%増で、これは経常収益が大幅に改善したことによるもので、資産ベースの手数料およびフィー収入の増加（特に預かり運用資産からの手数料等収入の増加）ならびに取引ベースの手数料等収入の増加に起因しています。当四半期の総営業費用は前年同期比10%増となりましたが、これは主としてグローバル・フランチャイズにおける継続的戦略投資に関連した従業員報酬および手当の増加ならびに業績アップに伴う業績連動型従業員報酬の増加によります。税引前利益マージンは前年同期の38.3%を上回る42.0%でした。

コーポレート&リテール・バンキングの2007年第2四半期の継続事業からの税引前利益は3億8,000万CHFで、前年同期を10%上回りました。純営業利益は前年同期比10%増でした。総営業費用は前年同期比14%増でしたが、これは、従業員報酬および手当の増加ならびにその他営業費用の増加によるものです。貸倒引当金は2,800万CHFの正味取り崩しを行いました。これは主に1件のエクスポージャーが解決したことによります。税引前利益マージンは39.2%（前年同期は39.1%）でした。

### アセット・マネジメント部門

アセット・マネジメント部門の2007年第2四半期の継続事業からの税引前利益は2億9,900万CHFで、前年同期から2億7,200万CHFも増加しました。純営業収益は前年同期比26%増で、これは資産運用管理収益の増加およびプライベート・エクイティおよびその他投資関連利益の増加によります。総営業費用は前年同期を15%下回りましたが、これは2006年第2四半期の総営業費用には、特に米国におけるアセット・マネジメント事業の整理統合に関連した費用1億5,200万CHFが含まれていたためです。当四半期の税引前利益マージンは35.1%でした。2007年6月30日現在の預かり運用資産は合計7,496億CHFで、2007年3月31日現在比5.8%増加しました。

### 新規純資産

ウェルス・マネジメントの2007年第2四半期の新規純資産は133億CHFで、年率で6.5%の四半期成長率となります。これは特に欧州と米州からの資産獲得が大幅に伸びたことによります。アセット・マネジメント事業の2007年第2四半期の新規純資産は204億CHFで、これは主にマネーマーケット資産、オルタナティブ投資およびバランス資産からの流入を反映したことによります。これにより、クレディ・スイス・グループ全体の運用資産総額は2007年6月30日現在1兆6,290億CHFで、2007年3月31日比5.0%増となりました。

### 2007年上半期業績

クレディ・スイス・グループの2007年上半期純利益は59億1,800万CHFで、継続事業からの利益は前年同期の実績を40%上回りました。1株当たり希釈化純利益は前年同期の4.07CHFを上回る5.24CHF、自己資本収益率は前年同期の23.1%を上回る27.4%でした。

## 現行自社株買戻しプログラムの加速化

クレディ・スイス・グループは、2007年5月9日に開始した最大80億CHFまでの自社株買戻しプログラムの一環として、2007年7月末までに25億CHF相当の自社株買戻しを行いました。今後2007年末までにさらに25億CHF相当の買戻しを行い、当初予定の2010年を大幅に早め2008年末までに同プログラムを完了する見通しです。

## 本件に関するお問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーションズ

梶野 勇

Tel 03 4550 9893

Email [isamu.kajino@credit-suisse.com](mailto:isamu.kajino@credit-suisse.com)

## クレディ・スイス・グループについて

クレディ・スイスは、世界有数の銀行として、インベストメント・バンキング、プライベート・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開しています。クレディ・スイスは、アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイスは、世界50ヶ国以上に拠点をもち、約45,000人の従業員を有しています。親会社クレディ・スイス・グループは、チューリッヒに拠点を置く、世界有数のファイナンシャル・サービス・カンパニーです。クレディ・スイス・グループの株式(CSGN)はスイスで上場され、米国預託証券(CSR)としてニューヨークでも上場しています。

## 予測情報に関する注意事項

本プレス・リリースには予測情報に該当する記述が含まれています。さらに、将来、当社および当社に代わって他の者が予測情報に該当する内容の声明をおこなう場合があります。かかる予測情報には当社の計画、目的もしくは目標に関する声明、当社の将来的な業績もしくは見通し、一定の偶発事由による当社の業績に対する潜在的な影響およびかかる声明の基礎となる前提事項などが含まれます。「信じている」、「期待している」、「予期している」、「企図している」、「計画している」およびこれらに類似の表現は予測情報であることを示すために使用していますが、予測情報かどうかを見分ける決定的な要因ではありません。適用される法律により要求される場合を除き、当社は特にこれらの予測情報を更新することは予定していません。予測情報の性質上、予測情報には一般的または具体的な固有のリスクや不確定要因が伴い、予想、予測、見通しおよび予測情報に記載もしくは暗示されたその他の結果が達成されないリスクが存在します。いくつかの重要な要因によって、実際の結果が予測情報に含まれる計画、目的、予想、予測および企図と大幅に異なる場合があります。これらに留意して下さい。これらの要因には以下のものが含まれます。(i) 市況および金利の変動、(ii) 一般的には世界的な経済力、および特に当社が業務をおこなう国の経済力、(iii) 相手方の当社に対する義務履行能力、(iv) 会計、金融、貿易および税務の方針の影響およびこれらの方針の変更ならびに為替変動、(v) 戦争、社会不安、およびテロなどの政治的、社会的情勢、(vi) 当社が業務をおこなう国における外国為替管理、公用徴収、国有化もしくは資産の没収、(vii) 十分な流動性を維持し、資本市場に参入する能力、(viii) システム故障、人的エラー、もしくは手続の適正な処理不能等の業務運営上の要因、(ix) 当社が業務をおこなう国における、規制当局による当社の事業および活動に対する措置、(x) 法律、規制および会計原則もしくは実務の変更による影響、(xi) 当社が業務をおこなう地理的な地域および営業地域における競争、(xii) 有能な人材を保有し、採用する能力、(xiii) 当社の評判を維持し、ブランドを促進する能力、(xiv) 市場を拡大し、費用を管理する能力、(xv) 技術の変化、(xvi) 当社の新商品および新サービスの適時の開発および導入、ならびに顧客による当該新商品および新サービスの認識された全体的な評価、(xvii) 買収、および買収後の事業統合を成功させる能力、(xviii) 訴訟およびその他の偶発事由による不利な結果、および(xix) 当社の上記リスクに関する管理能力。上記の重要な要因のリストはすべての要因を列挙したものではありません。予測情報を分析する場合、上記の要因およびその他の不確定要因および事由を注意深く検討すると共に、米国証券取引委員会に提出された当社の直近のフォーム20-Fおよびフォーム6-Kに記載されたリスクをも検討して下さい。